

香和会報

第4号



会長 鈴木恵子

会員の皆様こんにちは、いかがお過してでしょうか、4月より香和会の会長を務めさせていただきます13回生の鈴木と申します。学生の頃より『優等生』とは、天と地ほどかけ離れている私が、こともあろうに、香和会の会長とは、数ヶ月過ぎた今でさえ、とまどいながら筆を進めています。

それでも、歴代の会長の方々をはじめとして幹事の皆さんに助けていただきながら、一年生会長としては、やさしい先輩の方々、かわいい後輩の皆さんとの少しも、パイプ役になればと、体力を頼りに頑張りたいと思います。

— どうぞ、よろしくお願致します。 —

さて、自己紹介はこのぐらいにして、ますます発展する母校に遅れをとってはいけぬと、香和会としても、前会長の川崎さんと、幹事の皆さんによって、煮つまっていた企画等が、具体化しています。例年同様、秋に同窓会開催、香和会報を発行できた事、同窓生名簿作成中、聖徳祭にバザーとして出店する事、その他、

幹事研修会などですが、とても私達幹事が頑張っても手が足りないのでは、と心配しています。

この会報と共に総会のご案内が同封してあります様に、11月3日に母校に於いて開催されます。多くの卒業生を送りだした学園としても、香和会としても、ひとりでも多くの人達の姿を拝見できたらと思います。その月末には、聖徳祭も控えています。学生時代を思い出して、学園祭気分には酔ってみませんか！ご家族皆さんで来ていただいても楽しんでいただけることでしよう。

来年早々には、『創立50周年式典』と、会員の皆様に直接、お話を伺う事のできる機会がたくさんあります。その節には、皆様の知恵と力、そして笑顔をお貸し下さい。

最後に、皆様の住所変更等であて先不明になり郵便局で迷子となり、たくさん返送されてきます。どうか、無事に会報が皆様のお手元に届きます様に……。

お逢いできるのを心から楽しみにしております。

香和会の皆様、ご無沙汰いたしておりますが、いかにお過ごしでしょうか。短期大学も創立以来、来年は20年を迎え、卒業生も1万余名の多くを数え、各界でご活躍の様子が色々と耳に入ってきて、大変嬉しく思っております。

昭和40年の開校当時は、保育科と家政科しかなく、たった60名しかおらず、淋しいスタートでしたが、今では4,500名の学生が在籍し、8科17専攻をもつ全国でも1、2の総合短期大学となりました。これも卒業生の皆様の社会的な活動の評価がそうさせたものと感謝いたしております。

学園創立45周年行事の一環として、7号館と創立者記念講堂の落成、それに引き続いて、旧校舎も全面的に大改装を行い、暖房の完備した教室で快適な授業が行なわれております。

講堂完成後は、世界的な音楽家をお招きしての、オーケストラや独唱、独奏、室内楽などが年間十数回行なわれております。学生達は遠方まで出掛けていくこともなく、希望する演奏会を、学内で聴けるというわけです。

昨年7月には、山中湖畔にテニスコートを備えた山中湖荘も完成し、学生、卒業生、教職員家族の憩いの場として、また研修の場として活用されております。香和会の方々も是非ご利用ください。

また、本年4月には多年の念願であった附属中学校が松戸市内に、附属高校が松戸市内と茨城県藤代町内に開校いたしました。来年4月には、藤代町にも附属中学校の開校予定です。60年には初等教育学科の実習施設として、附属小学校を開校すべく準備いたしており、それが完成しますと、幼稚園から短大までの一環教育が実現することとなり、名実共に、日本を代表する女子教育の殿堂になることと思っております。

短大に於いては、百万冊の蔵書を取納出来る新しい図書館を建設すべく設計に入りました。近い将来、近代設備を備えた、最も進んだ技術を取り入れた図書館の完成を皆様にご報告出来ることと思っております。

学生達は恵まれた施設、設備を充分に使い、通年にわたってサークルの発表会、音楽会をしています。又、クラブ活動も盛んに行われるようになり、バレーボール、バスケットボールなど、上位を占めるようになってきました。聖徳祭は年々、はなやかに、今年の11月には、中国の演劇「越劇」(中国の地方劇の一つ)の上演が予定されています。

本学園は昭和8年に創立されて以来、今春50年目を迎えました。59年1月18日には武道館に於いて創立50周年記念式典を行います。多くのお客様をお迎えし、短大生、中学生、高校生、幼稚園々児に至るまで参加し、にぎにぎしく行う予定です。香和会の方々のお席もごさいます。お友達多数誘い合せ、是非お越しください。そしてなつかしい先生方と一緒に思い出話を花を咲かせてください。お待ちしております。

所 感 顧問代表 大野量平

私のようなものにとっては、卒業されたみなさんが、社会において元気に活躍されていること、そして、その成果が社会のために認められ、これからの社会のために役立っていることを、みさせていただくくらいうれしいことはありません。また、卒業生の数も1万3千名をこしたということで、これから益々発展の一途をたどることを祈ります。

聖徳学園短期大学と私にとってのなつかしい思い出は、昭和39年の夏にこの松戸相模台の地にはじめて立った時のことです。それからここに短大を設置するための校舎のつくりや、その計画を見させていただきました。

その後急ピッチで建築はすすみ、翌40年3月には短期大学開学落成式が盛大に行われ、そのお祝に私も参加させていただき、たいへん感激致しました。しかし大学の設置認可が1月になり、それから学生募集をはじめましたので、学生数はわずかでしたが、良い学生に恵まれ楽しい生物学の講義を家政科と保育科のクラスにしたことは今までも思い出に残っています。



昭和40年4月に開学された短大はその後隆盛の一途をたどり、現在見られるような発展をとりまわりました。その間に私は短期大学の創立者である初代学長川並香順先生、二代目学長川並孝子先生、三代目学長川並弘昭先生と三代にわたり、同じ校舎の下に御世話になってまいりました。その間に文学科、音楽科、保育科の二部、ついで初等教育学科の一部、二部が新設され総合の短期大学となりました。学生数も増員され、校舎も1号館から7号館までと、川並記念講堂が完成して、名実共に立派な短期大学として今日まで発展してきました。

私もはじめは短期大学の非常勤講師でしたが、46年4月から専任教授になり今日に至っています。卒業生の皆様と共に今後益々わが短大が発展していくよう頑張りたいと思います。終りに卒業生の皆様の将来の発展と健康をお祈りします。

57年4月	入学式(短大体育館) 会長他出席 新入生歓迎会() 会長他出席
5月	幹事会 役員改選
6月	役員会
7月	役員会 総会準備
9月	幹事会 総会準備
10月	幹事会 総会準備
11月	総会 幹事会 総会反省会 聖徳祭
58年1月	幹事会
2月	役員会
3月	卒業式(短大体育館) 会長他出席 謝恩会(帝国ホテル) 会長他出席

58年4月	入学式 新入生歓迎会 役員会
5月	幹事会
7月	幹事会
8月	研修会
9月	幹事会
10月	役員会 幹事会
11月	総会 聖徳祭
12月	幹事会
59年1月	幹事会 50周年記念式典
2月	役員会
3月	卒業式 謝恩会
4月	入学式 新入生歓迎会
5月	幹事会
7月	幹事会
8月	研修会
9月	幹事会

今、香和会では

いろいろな活動を再開しました。
会報発行、名簿発行、聖徳祭へのバザー出店、幹事研修会等。

会員が13,000名を超える現在の香和会にふさわしい活動を、と思っておりますがなかなか難しく、来年初立20周年を迎える短大の卒業生である私達会員の“若さ”がその原因の一つではないでしょうか。“ただいま子育て真最中”とか“バリバリの現役教育ママ”の世代を通り抜けないと、“こうるさい卒業生”にはならないのでしょうか。

女性が80歳まで生きる現代、長いと感じるか、短いと感じるか、それは個人差があるでしょうが、短大卒業後の60年。青春の思い出多い2年間、すばらしい2年間を送った短大のために、自分の青春のために、60年のうちのほんのわずかな時間を香和会に下さい。有形、無形、気持ちだけ、何でも結構です。でも、ほんのちょっとだけ形にして下さい。総会の出欠の葉書という形にして。香和会と会員を密接に結びつけているあの葉書です。

11月には総会と聖徳祭と2つの大きな行事があります。

新しくなった校舎の見学を兼ねて、是非一度おでかけ下さい。

7号館落成前の短大風景



58年度

香和会総会 並びに
懇親会開催

- 1、日時：昭和58年11月3日(木) 文化の日
11時30分より
(11時15分までにお集まり下さい)
- 1、会場：聖徳学園短期大学
川並記念講堂にて
総会、パイプオルガン演奏
食堂にて
懇親会
- 1、会費：3千円

- ※ 保育室を設置いたしますので、お子様同伴で、お気軽においで下さい。
- ※ 当日は、パイプオルガンの演奏がございます。
- ※ 10時30分より学内の見学もできます。

懐かしの聖徳祭再び!

第19回 聖徳祭

テーマ 「和」
日 時 11月26日(土)・27日(日)
AM 10:00 ~ PM 3:00

いよいよ今年も聖徳祭の季節がやってまいりました。ご卒業されて数年過ぎ去った今でも、なお皆様には「聖徳祭」という言葉に懐かしさばかりでなく愛着をも感じられていることと思います。特に、家の中に引きこもりがちな主婦の皆さん、「行ってみたいなあ」と心の中で思っているだけではいけません。さあ皆さん!思い切って懐かしの学園を訪れてみましょう。

今年は、香和会の企画といたしましてバザーを催したいと思っております。バザーの内容は、小物、トレーナー(1,600円ぐらい)、アクセサリなどを売りたいと考えております。その他、有志、学科別、クラブ別など盛りだくさんの内容を用意しておりますので、ぜひご家族おそろいで遊びに来て下さい。

——収入—— (単位:円)

科目	区分	予算額	前年度予算額	増減額
会費		8,532,000	8,248,000	284,000
積立金より繰入		3,000,000	0	3,000,000
預金利息		100,000	100,000	0
合計		11,632,000	8,348,000	3,284,000

会費:①4,000×2,311名(1部生2,098名,2部生213名)
積立金より繰入:会計年度変更に伴う支出増のため定期預金より繰入

——支出——

科目	区分	予算額	前年度予算額	増減額
定期総会経費		2,000,000	1,600,000	400,000
会報発行費		2,600,000	0	2,600,000
新入生歓迎会経費		1,900,000	900,000	1,000,000
卒業記念品費		2,700,000	1,000,000	1,700,000
会議費		200,000	100,000	100,000
印刷費		70,000	500,000	▲430,000
通信・運搬費		100,000	1,000,000	▲900,000
旅費・交通費		100,000	100,000	200,000
事務費		500,000	0	500,000
慶弔費		500,000	300,000	200,000
雑費		50,000	500,000	▲450,000
予備費		712,000	2,348,000	▲1,636,000
合計		11,632,000	8,348,000	3,284,000

昭和58年度は、会計年度変更後の初年度にあたるため、昭和58年4月1日より昭和59年9月30日までの18ヶ月となります。そのため、「会報発行費」「新入生歓迎会経費」「卒業記念品費」は、2回分の予算を計上してあります。

急願の「会員名簿」発行

会員の皆様方の消息をお知らせしたいと、数年来総会の業書などを利用し、名簿作成のための準備をいたしてまいりましたが、この11月1日に、やっと発行することになりました。

今回大変残念なことには、一部の方々の住所等が空欄であるということです。次回はぜひ、全員の消息をお知らせしたいと思いますので、誤りや住所不明の方の住所、その他お気づきの点がございましたら、香和会事務局までお知らせ下さい。

なお今回の名簿は53年度総会で決定されました通り、無料ではございますが、郵送料等は個人負担とさせていただきます。お受け取りの方法は下記のなかよりお選び下さい。

- 方法-1、総会・聖徳祭などで直接受取る。
- 2、郵送とする。(同封の振替用紙で郵送料その他で450円をお送り下さい。)

——収入——

科目	区分	予算額	決算額	過不足
会費		8,248,000	8,224,000	▲24,000
預金利息		100,000	69,693	▲30,307
雑収入		0	337,000	337,000
合計		8,348,000	8,630,693	282,693

会費① ¥4,000×2,056名(1部生2,015名,2部生441名)

——支出——

科目	区分	予算額	決算額	過不足
事業費		3,500,000	3,505,398	▲5,398
会議費		100,000	155,814	▲55,814
印刷費		500,000	425,000	75,000
通信費		1,000,000	956,900	43,100
旅費		100,000	10,000	90,000
慶弔費		300,000	515,295	▲215,295
雑費		500,000	710,530	▲210,530
予備費		2,348,000	0	2,348,000
(小計)		8,348,000	6,278,937	2,069,063
予算増額		282,693		282,693
合計		8,630,693	6,278,937	2,351,756

事業費…総会経費、卒業記念品、新入生歓迎会
印刷費…総会案内状、総会資料印刷代
雑費…バート給付、事務消耗品代等

差引剰余金 ¥2,351,756は定期預金として積み立てる
内訳 現金 ¥152,563
普通預金 ¥2,199,193
昭和58年4月30日現在
定期預金 ¥31,538,240

昭和58年度収支予算書(案)

昭和57年度収支決算書

数字にみる学生の現況

創立50周年を迎えた母校は、最新の近代設備を完備した校舎と、300名近い専任教職員に4,000名以上に及ぶ学生を容れ、さらに、この4月からは附属中・高校も2校発足して女子総合大学への発展を着々と実現しつつあります。

■在生人数

現在専攻は保育・初等教育・被服・食物栄養・国文・英文・仏文・器楽・声楽の9専攻があり、1年次2,142名、2年次1,993名、計4,135名の学生が松戸のキャンパスに通学しています。

全体のうち、保育科38%、初等教育学科19%、家政科12%、文学科27%、音楽科4%が各々在学しています。

■在寮生数

昨年度から、個室寮である和心寮が設置され、大学のキャンパス外にある順和寮、香風寮、考和寮、富士見寮の計5寮に現在約900名弱の寮生が起居を共にしています。

年々地方からの入学者は減少し、東京・千葉・埼玉・茨城等の通学範囲内からの入学者が増加している現状です。在学生数に対し、5人に1人が寮生という割合になって来てます。

昭和57年度 就職状況

●各学科別就職率●

	保育I	初等I	家政	文学	音楽	保育II	初等II
卒業生数	700	459	257	534	62	16	21
進学	7	1	14	23	10		
家事	12	73	32	54	5		
就職希望者数	681	385	211	457	47	16	21
就職者数	667	334	197	426	42	16	21
就職率(%)	97.9	86.7	93.4	93.2	89.4	100	10.0

●就職先別一覧●

	保育I	初等I	家政	文学	音楽	保育II	初等II
幼稚園	265	110	7			8	3
保育所	181	7	7			2	2
施設	9						
小・中学校教員		32		1			2
公務員	5	10	8	9	1	1	
音楽教師					27		
銀行・保険関係	19	21	18	85	1	1	2
一般企業	119	91	104	236	8	3	8
医療(病院)	1		11	3			
サービス・その他	68	63	42	93	4	1	4
合計	667	334	197	426	42	16	21

(58年3月末現在)

香和会の諸姉へ求人等のお願い

9月とはいえ、なお暑さ厳しい今日この頃です。諸姉には、ご家庭の主婦として、また幼稚園・保育所・施設あるいは一般企業など、各方面で大いに頑張っておられること、思います。

今年の卒業生は就職難にも拘らず、各方面には、期待どおりの就職をしておりますが、これは、諸先輩のご活躍が好評を博して、「きびしい聖徳短大」・「まじめな聖徳生」と評価されていることの成果であると、深く敬意を表する次第です。

ところで、来年3月には約2千余名の卒業生が巣立つ予定です。学生第一課では、幼稚園その他各界で活躍の諸先輩に、一人でも多くの後輩が続き、聖徳の名あらしめるよう協力いたさきたいと思っております。お勤め先や、お知り合いのなかで、求人があれば是非当課までご一報くださるようお願いいたします。良い学生を各界へと当課員一同大いに張り切っております。よろしくお願ひ申し上げます。末筆ながら、諸姉のご健勝とますますのご活躍を祈ります。

(学生第一課長 山地邦興)



HAPPY WEDDING

皆様、結婚式に出席なさると今はどこでも「祝電」を披露宴の中に組みこんで、司会の方が読みあげるのを御存じのことと思います。

私達香和会も会員諸姉の結婚式に「祝電」を打つ準備をしているのですが、利用される方が少なく、とても残念に思っております。ぜひ、ご利用下さい。

♥♥♥♥♥♥ 利用方法 ♥♥♥♥♥♥♥♥

- 1、結婚式場の住所・式場名・挙式月日・時間
 - 2、本人の住所・氏名(旧姓)
卒業年度・クラス
 - 3、結婚後の住所・氏名を、はがきに記入し、学園内香和会室宛に挙式1週間前まで連絡を下さい。さっそく手配します。
- ♥ あなたの幸福を、香和会からもお祝いさせて下さいませんか？



聖徳学園山中湖荘について



昨年7月に山梨県山中湖畔にセミナーハウス(宿泊施設)聖徳学園山中湖荘がオープンしました。多数の利用者を迎え、「すばらしい建物」「おいしい食事」とたいへん好評を博しております。今年度より利用者の範囲が広がり、香和会員およびその家族も利用できるようになりました。皆様のご利用をお待ちして以下概要をお知らせいたします。

所在地 〒401-05 山梨県南都留郡山中湖村平野506
施設 鉄筋3階建、収容人員最大82名(全室純和室白木造)、テニスコート1面

利用期間

年中無休(ただし学園指定日を除く)

利用者は2名以上を原則とし(1回4泊以内)
日帰り利用も可。

費用

利用費(1泊2食付、申込金込み料金)

区分	金額(円)	備考
卒業生	4,500	・申込金(1人につき500円)
家族・知人	4,500	・10月~5月(暖房費1人1日200円)
子供	2,500	・子供(就園3才児~小学生)
日帰り利用	500	

利用申込方法

香和会員~短大学生第二課へ
(申込みは窓口で受け付けます。ただし窓口に来られない方は申込書を請求して下さい。)

詳細は短大学生第二課へお問合せ下さい。

〒271 松戸市相模台531

聖徳学園短期大学 学生第二課

Tel (0473) 65-1111 内線3183



附属中学・高等学校開校

本学園創立50周年記念事業として、かねてより準備中であった中学校・高等学校はこの春ようやく1期生の入学式を迎えることができました。

松戸市秋山に鉄筋5階建の聖徳学園短期大学附属中学校・附属高等学校(普通科・音楽科)が、茨城県の藤代町に鉄筋地下1階地上5階建の聖徳学園短期大学附属聖徳高等学校(普通科・音楽科)が開校し、森英恵デザインの明るいブルーの制服を身につけた、中学・高校生の姿を街中에서도かいま見ることができるようになりました。学校では知育・小笠原流の礼法を中心とした徳育・体力を鍛える体育の3つを総合した教育を、ということで自分達の手で、着々と伝統を造り始めています。

各界でご活躍の会員諸姉、大きな第一歩を踏み出した、この諸姉の成長を、どうか暖かい目で見守ってあげてください。

なお、来春には藤代に中学校が開校されます。



聖徳学園短期大学
附属中学・高等学校(秋山)



聖徳学園短期大学
附属聖徳高等学校(藤代)

シリーズコンサート

川並記念講堂において、本学学生だけではなく、地域住民も参加して行なわれています。

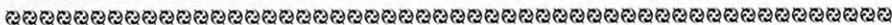
1981年5月14日のアイザックスターン・ヴァイオリン演奏会を始めて、超一流のアーティストを迎えて、演奏会が開かれております。

※鑑賞ご希望、お問い合わせは
TEL 0473 (65) 1111 (大代)
聖徳学園短期大学音楽科分室まで

10月以降は……

- 10/3(日) エレーナ・オフラスツォワ演奏会
- 10/14(金) ソビエト国立交響楽団
- 10/28(金) ライブツィヒ・ゲバントハウス管弦楽団
- 10/29(土) マリー＝クレール・アラン オルガン演奏会
- 10/31(金) クリストフ・エッセンバッハ & ユストゥス・フランツ
- 11/4(金) イ・ムシチ合奏団
- 11/22(火) NHK交響楽団演奏会

以上の予定です。



LL教室・囲いもなく、テーブルもオープンからカセットに、テレビシステムもつきました。



ML教室・音楽教育の最先端ノミュージック・ラボラトリーノ



冷暖房設備が整っても、汗と涙の体育館

アコル・眺望随一富士山も見られます。

校舎配置図



SEITOKU GAKUEN GUIDE



1日休めば…2日休めば…3日休めば聴衆にわかってしまう。156室もあるピアノ練習室



名演奏家とパイプオルガンが私たちを↑
クラシックの世界へ導く講堂ホール



壁画はそのまま、階段吹き抜けにはシャンデリア

↑落ちついた色調とインテリアの中くつろげる講堂ロビー

← 青春の楽しさ苦しさを自由に語りあえる7号館談話室



食堂・食事だけではなく、学生の憩いの場↑
テスト勉強もいたします！



発行所 聖徳学園短期大学 香和会
〒271 千葉県松戸市相模台531 ☎ 0473-65-1111
発行人 鈴木恵子
印刷所 明邦印刷株式会社 豊島区池袋本町1-8-6